

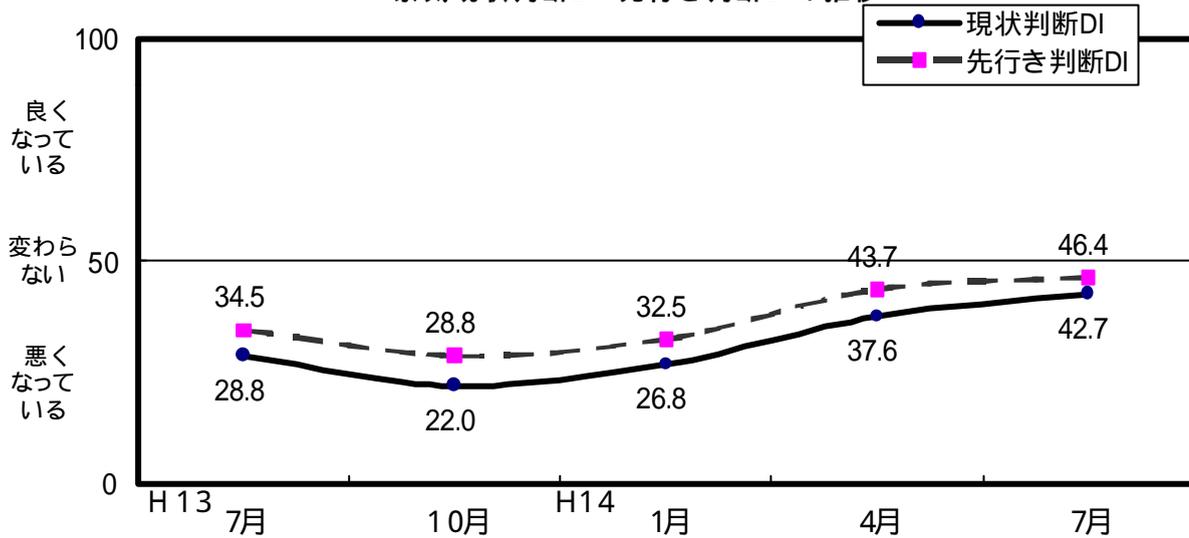
青森県景気ウォッチャー調査 (平成14年7月期)

調査期間 平成14年6月28日～7月22日 回答率 98%

概況

7月期の現状判断DIは42.7となり、横ばいを示す50を依然として下回っているが、平成14年1月期以降、連続してポイントが増加して、50に近付いている。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



13年7月は、試行調査による

平成14年8月

青森県企画振興部統計情報課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画振興部統計情報課 統計情報分析・利活用グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2179)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p><u>「悪くなっている」、「やや悪くなっている」が減少し、5割以上が「変わらない」と回答</u>したため、前期調査より5.1ポイント増の42.7となり、5期（試行調査含む）連続して横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部に売上回復の声があるものの、倒産・リストラ等による雇用情勢の厳しさや中元セール等における個人消費の伸び悩みが多く挙げられていた。りんごの価格低下による農家の購買意欲減を心配する声もある。</p> <p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連（飲食）が、売上減や経費負担増などの理由により落ち込んだ。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて東青地区のポイント増が目立ち、家計関連（飲食）以外は50に達している。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p><u>「悪くなっている」、「やや悪くなっている」がやや減少し、6割が「変わらない」と回答</u>したため、前期調査より2.7ポイント増の46.4となり、5期（試行調査含む）連続して横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、夏祭り等のイベントに期待する一方、景気回復材料の不足や経済改革への不信感、米国の景気後退による影響等が懸念されている。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全般的に増加している。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽地区では来客数の減少等から、やや低くなった。東青、県南、下北地区では増加し、県南地区では、新幹線開業に向けた、イベント等の効果を期待する声もある。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=98

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	28.8	22.0	26.8	37.6	42.7
家計関連	32.7	24.3	30.6	38.1	41.2
小売	30.0	23.3	28.6	36.5	40.5
飲食	31.3	15.9	43.8	41.7	35.0
サービス	37.0	27.8	28.8	38.0	43.3
住宅	29.2	29.2	20.8	37.5	45.8
企業関連	12.5	6.9	11.1	36.1	45.8
雇用関連	28.6	35.7	28.6	37.5	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.0	34.0	38.0	25.0
平成13年 10月	1.0	1.0	19.2	42.4	36.4
平成14年 1月	0.0	8.2	22.7	37.1	32.0
平成14年 4月	1.1	7.7	45.1	33.0	13.2
平成14年 7月	1.0	9.4	55.2	28.1	6.3

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=98

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	34.5	28.8	32.5	43.7	46.4
家計関連	36.0	29.1	32.6	42.2	46.2
小売	33.3	21.7	30.4	38.5	44.8
飲食	22.9	36.4	35.4	41.7	47.7
サービス	44.4	33.3	34.6	44.6	47.1
住宅	37.5	33.3	29.2	50.0	45.8
企業関連	25.0	23.6	27.8	47.2	45.8
雇用関連	42.9	39.3	42.9	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	6.0	46.0	28.0	20.0
平成13年 10月	1.0	3.0	28.3	45.5	22.2
平成14年 1月	0.0	4.1	46.4	24.7	24.7
平成14年 4月	0.0	9.9	61.5	22.0	6.6
平成14年 7月	0.0	13.4	63.9	17.5	5.2

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	31.7	23.3	23.3	37.0	49.1
家計関連	34.8	25.0	25.0	38.8	47.6
小売	33.3	30.6	25.0	39.3	50.0
飲食	33.3	16.7	33.3	50.0	25.0
サービス	38.9	19.4	22.2	37.5	50.0
住宅	25.0	37.5	25.0	25.0	50.0
企業関連	12.5	6.3	6.3	37.5	56.3
雇用関連	33.3	33.3	33.3	25.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	0.0	53.3	20.0	26.7
平成13年 10月	0.0	0.0	23.3	46.7	30.0
平成14年 1月	0.0	0.0	30.0	33.3	36.7
平成14年 4月	0.0	11.1	44.4	25.9	18.5
平成14年 7月	3.6	10.7	64.3	21.4	0.0

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	32.5	23.3	34.5	42.3	42.5
家計関連	37.5	25.0	41.7	40.8	38.6
小売	30.6	30.6	44.4	43.8	36.1
飲食	41.7	8.3	41.7	41.7	33.3
サービス	43.8	25.0	46.4	37.5	43.8
住宅	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5
企業関連	12.5	12.5	8.3	45.8	54.2
雇用関連	37.5	37.5	37.5	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	6.7	30.0	50.0	13.3
平成13年 10月	0.0	3.3	16.7	50.0	30.0
平成14年 1月	0.0	20.7	20.7	34.5	24.1
平成14年 4月	3.8	11.5	42.3	34.6	7.7
平成14年 7月	0.0	13.3	50.0	30.0	6.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	20.8	18.3	22.4	34.8	39.7
家計関連	23.8	21.4	25.0	35.5	40.0
小売	25.0	11.1	15.6	34.4	34.4
飲食	8.3	16.7	66.7	33.3	50.0
サービス	28.6	35.7	17.9	33.3	39.3
住宅	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0
企業関連	14.3	3.6	17.9	28.6	35.7
雇用関連	12.5	37.5	12.5	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	13.3	46.7	36.7
平成13年 10月	3.3	0.0	13.3	33.3	50.0
平成14年 1月	0.0	6.9	13.8	41.4	37.9
平成14年 4月	0.0	3.6	46.4	35.7	14.3
平成14年 7月	0.0	3.4	65.5	17.2	13.8

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合計	32.5	25.0	27.8	35.0	33.3
家計関連	36.1	28.1	31.3	36.1	34.4
小売	33.3	16.7	25.0	16.7	41.7
飲食	41.7	25.0	33.3	41.7	25.0
サービス	33.3	41.7	33.3	50.0	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0
平成13年 10月	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
平成14年 1月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0
平成14年 7月	0.0	11.1	11.1	77.8	0.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

D I

n=30

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合 計	37.5	28.3	30.8	42.6	48.3
家計関連	38.0	30.4	31.5	41.3	47.7
小売	33.3	25.0	19.4	46.4	50.0
飲食	33.3	50.0	41.7	25.0	41.7
サービス	47.2	27.8	38.9	43.8	46.9
住宅	25.0	37.5	37.5	37.5	50.0
企業関連	25.0	12.5	12.5	43.8	50.0
雇用関連	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	56.7	26.7	13.3
平成13年 10月	0.0	3.3	23.3	56.7	16.7
平成14年 1月	0.0	3.3	43.3	26.7	26.7
平成14年 4月	0.0	7.4	66.7	14.8	11.1
平成14年 7月	0.0	13.8	69.0	13.8	3.4

< 津軽地区 >

D I

n=30

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合 計	40.0	35.8	39.7	46.2	45.0
家計関連	39.8	34.1	39.3	44.7	44.3
小売	33.3	33.3	41.7	34.4	41.7
飲食	41.7	41.7	41.7	50.0	41.7
サービス	43.8	34.4	42.9	54.2	50.0
住宅	50.0	25.0	12.5	50.0	37.5
企業関連	37.5	37.5	37.5	50.0	45.8
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	10.0	53.3	23.3	13.3
平成13年 10月	0.0	3.3	50.0	33.3	13.3
平成14年 1月	0.0	10.3	51.7	24.1	13.8
平成14年 4月	0.0	15.4	57.7	23.1	3.8
平成14年 7月	0.0	6.7	70.0	20.0	3.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合 計	27.5	26.7	27.6	42.9	46.6
家計関連	31.0	27.4	28.8	40.8	47.5
小売	36.1	11.1	28.1	37.5	46.9
飲食	0.0	41.7	25.0	50.0	58.3
サービス	35.7	39.3	28.6	33.3	42.9
住宅	37.5	37.5	37.5	62.5	50.0
企業関連	17.9	21.4	25.0	46.4	42.9
雇用関連	25.0	37.5	25.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	3.3	33.3	33.3	30.0
平成13年 10月	3.3	3.3	16.7	50.0	26.7
平成14年 1月	0.0	0.0	44.8	20.7	34.5
平成14年 4月	0.0	10.7	53.6	32.1	3.6
平成14年 7月	0.0	20.7	51.7	20.7	6.9

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成13年		平成14年		
	7月	10月	1月	4月	7月
合 計	30.0	13.9	30.6	42.5	44.4
家計関連	33.3	15.6	28.1	41.7	43.8
小売	25.0	8.3	37.5	33.3	33.3
飲食	16.7	0.0	33.3	41.7	50.0
サービス	58.3	33.3	16.7	50.0	50.0
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成13年 7月	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0
平成13年 10月	0.0	0.0	11.1	33.3	55.6
平成14年 1月	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0
平成14年 7月	0.0	11.1	66.7	11.1	11.1

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	東青	コンビニ	3ヶ月前はまだ冬で寒いです。今は夏に近づいている。	
やや良くなっている	家計	東青	旅行代理店	取扱高（対前年比）の増加。	
			美容院	新規のお客様が増加してきている。	
		津軽	レストラン	前年比少しではあるが上昇している。	
			観光名所等	消費者の財布の紐がかたいと言われているが、良い商品はやはり売れるし、買ったお客様も喜んでいる。決して全てにおいて購買意欲が下向きという訳ではない。	
		県南	観光名所等	梅、サクランボが大豊作で、お客の出入がよくなっている。昨年の倍です。	
		下北	一般小売店	毎年、毎年、下落傾向であった客単価ですが、6月の数字だけ見ると上昇しました。このまま1割ほど客単価が上がってくれば良いのですが。	
	企業	東青	食料品製造	前年比売上げが、3ヶ月前の前年比落ち込みより回復傾向にある。	
			津軽	食料品製造	去年の冬、大型スーパーが相ついで倒産したが、その後は一応平穏を保っている。
		津軽	電気機械製造	3ヶ月前に比べると確かに良くなっているが、底を脱しただけで決して今の状況が良いとは思わない。	
変わらない	家計	東青	スーパー	単価の下落傾向が続いているにも拘わらず、消費に力強さが感じられない。	
			乗用車販売	上向きも下向きもない（よくなる兆しが見えない）。	
			衣料専門店	景気変動する要素がない、みあたらない。	
			家電量販店	売上は、依然として前年割れが続いている。	
			商店街	1. 商店街振興組合加入の各商店10軒位、聞き取りしたところ、売上げが前年比、横ばいよりもむしろ下降傾向にあります、との反応でした。 2. 価格の高低でなく、日常生活費の経費増に追われているようです。	
			都市型ホテル	悪い、大変だという話ばかりで、明るい話題がない。	
			タクシー	14年に入り、お客様の乗車する回数が、我々含め業界全体で下降が進んでいる。	
			パチンコ	サービス業関係の方々は景気が良くなく、一般サラリーマン（公務員の方々も含む）は若干良い方向にすすんでいる様に感じます。	
			設計事務所	公共事業の発注数、住宅の着工数等がかなり低い。	
			住宅建設販売	長期の住宅ローンを検討した場合、所得・雇用が先行不安である。	
			津軽	百貨店	お客様の購買力は、中元商戦を含めても、あまり変化がない。
				スーパー	平均してみると変わりなし。
				衣料専門店	1. 消費者の買い控え、 2. 老後の不安による貯蓄、 3. 超低金利、 4. リング価格の低迷。

変わらない

家計	津軽	商店街	贈答品の単価、数量が下がったまま上昇しない。	
		卸売業	3ヶ月前と同様、取引先の倒産及び自己破産が、いまだに続いている為。	
		観光型ホテル・旅館	お客様の入込みがない。	
		旅行代理店	季節の変化に伴う消費が伸びていない。地域的に農家の収入が景気を左右しますが、りんごの価格の低迷が響いている。	
		美容院	なんとなく。	
		パチンコ	当社でも上期の決算を終え、過去の実績の比較をし、分析しているが、横ばいの傾向であるし、今後の見通しからも、変わらないと思われる。	
		住宅建設販売	良いのか悪いのかさっぱり分かりませんが、良くないのは分かりませんが、正直どの辺かよく分かりません。	
	県南	コンビニ	1) 最大イベントのワールドカップ時点においては、サラリーマンが仕事を終えて、ビール・つまみを買って早目に帰宅し、テレビを観る。との事での売上UPはあったものの、以降は、以前と変化は見られない。	
		百貨店	今は、お中元の時期に入っていますが、立ち上がりからの売上状況は今一歩良くない(早期お買上げ割引特典として、全品10%割引等を打ち出しているが)。また、夏物クリアランスの時期でもあるが、割引時期を早めたため、6月の売上はアップしたが、7月はその反動でダウンし、トータル前年差、などの状況を見ると、景気が上向きに行くとは考えにくい。	
		スーパー	自分の職場(小売業、スーパー)ではあまり大きな波は感じられないが、ちょっと郊外の観光地、リゾート地に行くと、その人の少なさに驚く。また、市内の飲食街も、夜の人の出はまばらに見える。しかし身の回りに大きな変化はない。	
		一般小売店	中心商店街(13日町)にある大手スーパーの来年(春)撤退が決定・発表され、その事に関する様々な問題が少し落ち着いている様子である。	
		一般飲食店	景気は3ヶ月前に比べて少しも良くなっているとは思えない。政府は底入れと言っているが地方にはなんら関係ない様子。やはり危機感を常にもって行動を早くしないと先が危ないと思う。	
		レストラン	今はお金を出す金額も少く、宴会も減りました。今後、お盆やお祭りもあるので、少しは良くなると思います。	
		旅行代理店	訪問先会合等で様々な業種の人たちと話をしたが、極力経費の節約に努めているとか、ボーナスを出せないとかいう声を聞くが、企業の倒産とかの話はあまり耳にしない。	
		タクシー	景気が上向いてくる予感がするけれども、夏以降になると思う。	
		パチンコ	景気が回復するような具体的な政策がない。(例えば、思い切った大減税をやり、所得者の購買意欲を向上させる等)。	
		設計事務所	日々接している会社、個人で景気の良くなっている者は無い。又、マスコミ等での報道でも似た様な感じで有る。	
		住宅建設販売	建築物件では新規のものは期待できず、既存施設の補修や改築・改修に活路を見いだすのが現況である。	
		下北	ガソリンスタンド	むつ市内で中位建設業の倒産、川内町同様倒産あり。これからまだまだ関連倒産あるものと予想されます。
		企業	東青	建設
経営コンサルタント	県内雇用情勢は特に大きな変化も無く、依然として厳しい状況にあると判断される為。			

変わらない	企業	津軽	建設	新規の受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。		
			経営コンサルタント	売上の回復している企業が増えており、業種全体としては不動産業が回復した。		
			広告・デザイン	この2～3ヶ月景気が上向いているという感じられない。又、上向きに転ずる材料もなし。		
		県南	飲料品製造	発泡酒値下げに見られる様に、メーカー主導で売価を下げる方向にしか向かっていない。ために売上ダウンを口実に、夏の賞与も辛いものとなっている様。		
			紙・パルプ製造	景気は輸出産業を軸にやや持ち直した感もあるが、円高基調となったことから、先行きの不透明感は解消されず、需要の盛り上がりは依然見受けられない。		
			電気機械製造	取引会社との話の中では、仕事量が上向きそうな噂はあるものの、実際の仕事量は増えておらず、今後も増える確証はないため。世の中の仕組みの改革(政治改革)も結果として進んでいないので、人々の心理にも悪い影響が出ていると思うため。		
			広告・デザイン	仕事量、利益ともに変化なしのため。		
		雇用	東青	人材派遣	各企業の変化もみられず、現状維持での推移が続くのではないかと？	
				新聞社求人広告	落成広告が少ない状況も変わらず。企画広告への協賛社も減りつつある。	
				求人情報誌	現時点では、あまり急激な変化がみられないため。	
			津軽	新聞社求人広告	景気の底なのか、売上が低くなっている段階で、止まっている様子。小売業も、あきらめがあるのか、以前ほど悪いと口に出す人が少なくなった。市内で老舗の製造業が倒産する話がまだいくつか聞こえてくる。銀行もシビアになっている様子。旅館業も7月末で閉鎖することが決まっており、こうした傾向が見え隠れして、苦戦が続いている。	
			県南	新聞社求人広告	求人広告は過去最低水準のまま。求人傾向も常用雇用はほとんどなく、パート・アルバイトが主体となっている。県南地域の雇用状況は悪く、景気は底をついたまま。好転の兆しは何もない。	
		やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	月別売上の前年対比が3ヶ月前と比べ、厳しい。
					一般小売店	県内大手スーパー閉店で売上回復したように見えた店も、別のスーパーの開店と同時に売上ダウンになり、市内全体の景気は回復する傾向にはなく、小さなパイの食いあいになっている。
一般飲食店	売上げが10%弱減少。					
レストラン	団体で動く行事がないから。今年はワールド・カップもあったから？					
観光名所等	旅行へは行くが、買い物はしない。そんな傾向がますます強くなって来ている。					
競輪場	車券売上げが減少している。					
津軽	コンビニ			就職できない人が身近に増加傾向。		
	家電量販店			来店客数が減っている。客単価も低い。消費を我慢している様子が目立つ。		
	一般小売店			前回の3ヶ月間は前年比120%だったが、今回は115%。しかも、4月はよかったが(125%)、5・6月はそれに比べて悪くなってきているので。		
	一般飲食店			土手町は前から歩いている人が少なかったが、駅前も平日は歩いている人が少なくなったと聞きます。よって買い物する人、食事する人も減っている。		

やや悪くなっている	家計	津軽	都市型ホテル	レストラン部門の落ち込みは、他の業種のバロメータとも取れる。宴会部門は健闘している。
			ガソリンスタンド	過当競争による利益の圧縮と売上の減少。不当廉売に近いほどの価格競争が激化している。
			設計事務所	公共事業及び民間工事の動きが非常に遅い。
		県南	衣料専門店	景気が底をうったと云われていますが、雇用環境の厳しさ等から先行き不安定。個人消費は伸びていない。
			商店街	組合員の話から、そう思う。
			卸売業	依然として、小企業（新聞等で報道されない小企業）の倒産、失業者の増加が続いており、明るい兆しが見えない。
		下北	コンビニ	下北郡内トータルでも、昨対割れに歯止めがかかっていない為。
			スーパー	会社の倒産が下北地区でも多数出て来て、失業者が多くなっている。自店でも男性のお客様がふえて、主婦にかわって、メモを持ち買い物されている。
			一般飲食店	うり上げも少し下回ったのに、税金が多くなって困っています。不景気だと思って、経費をきりつめた分、それだけ税金が多くなったため。
			レストラン	失業率上昇、企業の縮小が目立ってきている。
	都市型ホテル		宴会・婚礼、宿泊とも売上が伸び悩んでいる。	
	企業	津軽	飲料品製造	お客様に元気がない。
			県南	得意先の話として、去年より物が売れない。売れているのも、単価の安いもの。
		経営コンサルタント	底ばい状況で変わっていないと思うが、全業種にわたって不況感が強くなっているから。	
		下北	食料品製造	H14、5・6月の売上げが対前年を割っている。
	悪くなっている	家計	津軽	スナック
県南				乗用車販売
			観光型ホテル・旅館	5月実績で32%減、6月予報18%減。宿泊されるお客様の館内での消費（冷蔵庫等の合計で10%減）も比例して落ち込んでいる。
			美容院	反応がよくない。日本明るい材料がほしい。
企業		県南	建設	公共工事が激減し、4月以降公共工事受注皆無の企業も多く、仕事確保のため奔走している状況にある。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	コンビニ	良くなっていてほしいと言う希望でもある。そして、店がオープンして3年目に入ったので、お客様に認められてきたのでは。	
			旅行代理店	高額商品が少しではあるが動いてきている。	
			美容院	お盆前までは上向くが、過ぎると下がるが、秋口に入ると、増加する、と思う。	
		津軽		レストラン	不安定で上下波が多すぎるが、季節変動の時期なので、前年よりは上昇すると思われる。
		県南		コンビニ	1) 7月～8月は祭りでのイベント等による移動マーケット情報から、売上げ増が見込まれる。昨年は、雨により売上も低迷したも、今回は天候・気温にもよるが、自店でも売上増を見込み、努力したい。
			百貨店	新幹線八戸駅開業12月1日に向けて、市、商店街等で盛り上げの為の動きが出て来る頃と考える為、活気が少しは出て来ることを期待しています。	
			一般小売店	一時的ではあるが、大手スーパー、大手百貨店等の閉店セールで物販の動きが活発化しそうである。また、新幹線イベントも少なからずプラス要因となると思う。	
			レストラン	12月新幹線八戸開業で街のムードも少しずつ盛り上がってくると思います。新しいうちや新しい企画もどんどん出てきました。市民の皆もよい方向に向かうことを願っている所です。皆で知恵を出しあって魅力ある街作りをしている所だからです。	
			スナック	ねぶた、三社大祭で観光客の来県をみこんで。	
				タクシー	夏に向かって外出、行楽に出かける人が多くなると思うから。不景気も底をついて居るので何となくその予感。この世の中どうなる事か、金を残してもどうなるかむだ、と思う人が多くなって居る様に思う。
		下北		一般小売店	TV、新聞等マスメディアで、景気回復の兆しと報道されるようになり、それによって個人消費も戻って来るかと思えます。只、ボーナスの増減により状況は変わってくるかと思えます。
	企業	東青	食料品製造	日本経済もプラス成長が期待出来る状況になりつつあることから、期待感も込めて。	
変わらない	家計	東青	百貨店	良くなる徴候も悪くなる徴候もみえない。	
			スーパー	雇用とか年金、金利等に対する不安要素が解消されない(と思う)。	
			衣料専門店	良くなしてほしいのですが、好転材料がまだ出て来ていないと思えるから。	
			家電量販店	ハローワークには、職を求める人が溢れ、ボーナスを貰えない人も増えている。 不要・不急なものは、買え控えるようになった。	
			商店街	1. 経済情報誌、問屋脇の話、TV等から、青森市は、まだ当分現状が続くものと考えております。 2. 日銀の概況、パソコンの販売不振等、先行不透明です。持久戦の様相です。	

変わらない

家計 東青

卸売業	景気を左右する大きな動きが無いと思う。
一般飲食店	此れ以上景気が悪くなるとは思わない。
スナック	全々先が見えません。期待しておりません。
都市型ホテル	明るい話題、対応をしてくれる人が極端に少ない。
観光名所等	少くも景気がよくなっても、一般のお客様まではまだまだ先の話しのように思える。
設計事務所	短期間（3ヶ月）に変化が起きる状況にはない。
住宅建設販売	長期の住宅ローンを検討した場合、所得・雇用が先行不安である。
津軽	
百貨店	お客様の購買意欲にあまり変化が見られない。
スーパー	客数が増えているが、単価に変動なし。
衣料専門店	都会はともかく、地方においては特別景気良くなる要素なし。
家電量販店	天候不順（春から）もあり、季節商品が全商品をリードできない状態でエルニーニョの発生も確率が高く、予断を許さない。
商店街	雇用情勢が全く改善される見込みが無い。
一般飲食店	8月はねぶた、お盆、夏休みで少しは忙しくなると思われるが、そんなに大きくは変わらないと思います。
観光型ホテル・旅館	3ヶ月先はオフシーズンのため。
都市型ホテル	宴会セールスを中心に努力するのみ。これ以上の景気悪化ではたまらない。
観光名所等	特に景気が変動するような要素がない。
旅行代理店	デフレ傾向の中での消費の伸びの要素がみあたらない。雇用の低迷、設備投資の停滞。
美容院	変わる理由が特にないから。
パチンコ	社会情勢を見た場合でも兆しが見えないし、もう数年はこのままの状態が続くと思われる。
住宅建設販売	お客様との会話の中で景気のよい話は全く出ません。7/11（木）日経平均10,485円、又々10,000円を切る勢い。これでは3ヶ月先見通し等無駄。
県南	
乗用車販売	小泉内閣の改革が今一つ前進せず、閉塞感がぬぐえない。内閣と政府与党の一体感が感じられない。故に、景気対策の決め手に欠ける。
衣料専門店	米国経済の景気後退で、日本への影響があると思う。（輸出、株式）
旅行代理店	こどもが高校、大学を卒業した、あるいは来年卒業するが就職が決まっていないのでどこかないかと言われており、また親戚筋から子弟を何とか使ってくれないかと依頼されるが、むしろ人を減らしたいくらいだという社長も多い。
美容院	具体的なもの（政治、経済での）が見えない感じられない。

変わらない

家計	県南	パチンコ	今後3ヶ月間は、夏休、お盆休、夏祭等の影響で若干の消費が見込れると思うが、従来とほとんど変わらないで推移していくと思われる。		
		設計事務所	政府の方針等をマスコミを通じて感じるのは、あまり期待できない。		
		住宅建設販売	民間における設備投資の動きは鈍く、施設を受注に結び付ける機会は依然として少ないのが現況である。		
	下北	一般飲食店	今以上悪くなったら、たいへんなことになると思うから、これからは経費をあまりけちらないであげば、税金が少なくてすむと思います。		
		タクシー	8月はお盆、お祭り、一次活気づくも、9月～10月の観光予約も余り期待も薄く、トータルで下半期も苦しい状況が続くそうです。		
		都市型ホテル	給料、ボーナス等のベースアップが望めないため。		
		ガソリンスタンド	大手重機販売業で自殺者が出るなど、銀行の貸ししづりが強く、これからも続くものと思われます。		
	企業	東青	経営コンサルタント	景気悪化のテンポは鈍化している感あるものの、現状では回復に向けた抜本的対策見出せないままの推移が見込まれる為。	
			津軽	食料品製造	急に良くなるはないと思う。ある程度今の状態が続くのではないかと。
			飲料品製造	状況が依然として変わらない。	
		電気機械製造	良い方向へ向かう材料も見られる反面、ここへ来てアメリカの景気後退や粉飾決算、政府の構造改革の遅れなど、悪影響を及ぼすことも多々あり、予想が難しい。		
		経営コンサルタント	景気は回復途上であるが、建設業と製造業の業績が低迷の見込みである。		
		広告・デザイン	政府がこれまでになく、底入れ宣言を強調しており、上向きに転ずる様にも思われるが、様々な状況がまだ整っていないのでは。		
県南		飲料品製造	新幹線開業イベントで浮かれている分野も出現するだろうが、不景気にすっかり馴染んでしまった個人消費を上向かせるものは見えない。		
		紙・パルプ製造	景気の牽引役となる産業が見当たらず、当面在庫調整が進むものと思われるため。		
		電気機械製造	社内改革を進める会社はどんどん良くなっていくが、結果が出るのは社内改革が完了する頃である。旧態依存の会社は同業者や取引先の他社の足を引っばっている。民間の会社も改革が必要で、お客様は、日々改革している会社とそうでない会社を選別しようとしている感じがする。		
		経営コンサルタント	政策、世界経済など日本経済が良くなる理由が無い。		
下北		食料品製造	良くなるという要因が考えつかない。		
		雇用	東青	人材派遣	事務系の求人に対する応募者が多くみられることは雇用面で正社員の採用が進んでいないのでは。
			新聞社求人広告	依然として流通・小売業・金融関係の広告の動きが鈍い。	
求人情報誌	現状を維持するだけで、精いっぱい社会情勢だから。				

変わらない	雇用	津軽	新聞社求人 広告	住宅産業もリフォームへの転換を図るなど動きも目立つが、低い水準変わらず。観光地である弘前市への修学旅行数が減るなど、目に見える形で減収が続いているのも気掛かり。全体的に観光入込数アップの対策必要とみる。		
		県南	新聞社求人 広告	先行が依然不透明なため、雇用不安などで消費は冷えたまま。新聞広告にも反映し、住宅、不動産、小売、流通の広告は減少のまま。		
やや悪くなっている	家計	東青	一般小売店	県内大手スーパー閉店で売上回復したように見えた店も、別のスーパーの開店と同時に売上ダウンになり、市内全体の景気は回復する傾向にはなく、小さなパイの食いあいになっている。		
			レストラン	新聞・テレビなど、マスメディアの影響で、お客様はあまり消費しないのではと考えるし、その代わり、何か行事などがあった時は、いっせいに動くのでは？		
			競輪場	車券売上げが増える要素が見あたらない。		
		津軽	コンビニ	ますます可処分所得が減少すると考えられるため（就職できない人が身近に増加傾向であることと関連して）。		
			一般小売店	前回の3ヶ月間は前年比120%だったが、今回は115%。しかも、4月はよかったが（125%）、5・6月はそれに比べて悪くなってきている、という点と、ここにきて株価が下がってきているし、小泉改革が実行されているのか疑問であるので。		
			卸売業	公共工事の発注減少に加え、民間工事も少ないと思われる為。		
			ガソリンスタンド	需用は減少しているのに大型店舗がオープンのため。		
			設計事務所	展望の開けた内容の話がない。		
		県南	商店街	残念ながら、外部環境好転の良い材料は見当たらないため。		
			卸売業	・国の経済対策期待できず、時間がかかると思われる。 ・ボーナスの支給時期であるが、民間企業が厳しい(公務員は支給されたが)。 ・勝ち組と負け組がはっきりしてきている(ほとんどが負け組)。		
			一般飲食店	ワールドカップで有頂天になった分、おのづと財布を引き締めざるを得ないと思う。又、今年の夏場の天気(冷夏かも)に相当警戒しなきゃと思っている。		
			ガソリンスタンド	給与所得が上昇しないため。		
		下北	スーパー	公共事業等の仕事が出てこないと思えば景気は良くなる。失業率も悪化する一方でひとつも良くなる。		
		悪くなっている	企業	東青	建設	政府の言う景気下げ止まり論は一部の大企業の話。米国経済が先行き不安視されている中、状況はますます悪くなる。
				津軽	建設	新規の受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。
県南	食料品製造			ほんとうに必要なものだけ購入。購買意欲が沸く様な社会現象がない。(政治不信等、マインドを落とす様な情報の氾濫)		
	建設			公共工事発注の回復は見込めず、例年秋口には発注が峠を越えることから、9月以降さらに悪化するものと推測される。		

悪くなっている	家計	県南	スーパー	日・米株価の下落、日本政治の低迷(走?)から、秋頃までデフレ傾向のままだと思う。地方への影響は時差あるも、全体景気回復まで年内いっぱい無理と見る。合併によるリストラ等で更に業種により、人余り状態増える。
			観光型ホテル・旅館	予約状況での特徴は、1泊2食の目玉商品に多く集まっている(1泊2食@6,000円)。トップシーズンのお盆の頃も以前の特別料金を打ち出せないでいる。
		下北	コンビニ	倒産件数の増加と連鎖倒産が起こり得るから。
不明	家計	東青	パチンコ	予想が難しい(変動が激しい為)。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=98

	平成 1 3 年		平成 1 4 年		
	7 月	1 0 月	1 月	4 月	7 月
合 計	14.0	13.1	13.7	16.8	21.7
家計関連	15.7	14.2	16.7	18.3	21.9
小売	11.7	13.3	17.9	19.2	20.7
飲食	12.5	9.1	18.8	20.8	25.0
サービス	21.3	15.7	16.3	17.4	21.3
住宅	16.7	20.8	8.3	12.5	25.0
企業関連	8.3	6.9	4.2	11.1	15.3
雇用関連	10.7	17.9	7.1	16.7	35.7

回答別構成比 (%)

	良い	やや良い	どちらとも 言えない	やや悪い	悪い
平成 1 3 年 7 月	0.0	2.0	7.0	36.0	55.0
平成 1 3 年 1 0 月	1.0	0.0	7.1	34.3	57.6
平成 1 4 年 1 月	0.0	2.1	8.2	32.0	57.7
平成 1 4 年 4 月	1.1	0.0	8.8	45.1	45.1
平成 1 4 年 7 月	0.0	1.0	25.5	32.7	40.8

地区別 D I

n=98

	平成 1 3 年		平成 1 4 年		
	7 月	1 0 月	1 月	4 月	7 月
合 計	14.0	13.1	13.7	16.8	21.7
東青	12.5	13.3	10.8	15.7	21.7
津軽	20.0	15.8	17.2	18.3	25.0
県南	9.2	10.8	12.9	13.4	19.0
下北	15.0	11.1	13.9	25.0	19.4

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	スナック	日本全体が悪いので、私達の仕事は(飲食業)もっと悪いと思います。(まして地方はです)
		レストラン	・個人レベルで動いてみてもあまり変わらない気がする。 ・商店街でいろいろやってはいるものの、なかなか成果にはむすびつかないと思う。
		衣料専門店	12月以降の新幹線八戸駅開設に関連して、少しは県内景気も刺激されると期待しています。
		一般飲食店	出費は最低限にする。
		観光型ホテル・旅館	景気が悪くなっている関係か、原則無担保の制度融資も担保要求される様になって来た。
		観光名所等	今のような景気がこのまま長く続いたら、観光関連の業者はもたない所がまだまだ出て来るのでは。
		都市型ホテル	百貨店等の売り出し等にも冷静である。
		美容院	いぜん、お客様が、解雇になったという話しが出て来ている。
	津軽	ガソリンスタンド	大企業や、中央の企業だけで、地元の零細企業が生き残れるような具体策を希望します。(金融策、都市計画等)
		スナック	最近、古くからやっているスナック、居酒屋など店をしめて(やめて)いる所が特に目立っている。
		一般飲食店	呉服店(老舗)の閉店、デパートのテナントの入れ替わりが激しい。
		一般小売店	サッカーW杯のフィーバーが青森県には余り影響を与えていない。当店も日本が決勝進出した後セールをやったが、業種的にも当たらなかった。
		家電量販店	5月、6月はワールドカップの影響もあり、テレビ部門は前年比180%(大型テレビも売れた)。今後は少し反動も懸念される。
		観光型ホテル・旅館	同業者及び他の業種に閉店する店が多い。
		観光名所等	弘前への影響は比較的弱いと思うが、新幹線開業後の動向に期待。消費者の財布の紐がかたいと言われているが、良い商品は売れるし、買ったお客様も喜んで、ということともつながるが、景気は消費者のみでなく、供給する側のちょっとしたリアクションでも改善させられるものと考えている。
		住宅建設販売	来年のペイオフ全面解禁、延期か実施か揺れている。タンス預金が又増え、財布のひもが一段と締めるかも。景気回復いつの事やら、下位金融機関の吸収、合併も一層増え、自由化の意味もなくなるのでは・・・。
		設計事務所	建築関係の悪い噂がたえない。
		都市型ホテル	2001年産のりんご安値で、農家の購買意欲は冷えている。これは当地域では大きいダメージだ。
		旅行代理店	私たちの業界でも業務の縮小、撤退があり、ここ2~3年は我慢の時代ではないでしょうか。津軽地方はりんごを始め農作物の収入のいかんがカギだと思います。
	パチンコ	同業者の争いが激化しており、よりクオリティの高い営業を求められている。今後もさらなる企業努力で、乗り切っていく。	

家計	県南	スーパー	大手の会社よりリストラ、人員調整の結果として、青森にIターンされる方が、当社にもこのところ増えてます。この業種、業態に限れば、青森から「出稼ぎ」は昔の話。今は青森に「出稼ぎ」するのがスタンダードタイプとなっています。
		タクシー	市内にホームセンター、スーパーが同一場所に7月、新築オープンになりますので、多少はうるおいが出て来ると思う。
		パチンコ	各企業ともリストラ（人員削減）等を実行しており、厳しい経営状況が続いている。また、金融機関は自社の経営内情を主張し、真剣に取り組まない。相互（銀行、経営者）発展の精神は全くと言ってほくない。
		レストラン	今、八戸は新幹線開業で何とか上昇運にのろうと頑張っておる所です。当店もこの機会に新店舗に移転しました。観光客や新しい客に向けてオシャレな店を作りメニューも一新して、八戸らしさを出した店となりました。これからもっと良くなると希望している所です。
		一般飲食店	大手スーパーの退店が決定によって、やはり個店が本気で取り組みをしなければ、いままでの様に依存主義はだめ。本気の店が数店増えると町も比例して活性するのでは。
		一般小売店	中心商店街(3日町)にある大手地元衣料販売店が、家賃問題で三日町から十三日町の物件へ移ると内定。バブル家賃のテナントオーナーがまだまだ多いのには驚く。
		観光名所等	名川町には、くだもの特産物がたくさんあります。これから、もも、りんごと大豊作なので、お客様の出入りが有り、少々ながら皆で買っていきます。
		乗用車販売	ワールド杯の影響は無いかもしれないが、6月は極端に来場客が少なかった。果たして経済効果は有ったのか？冬季アジア大会の効果が危ぶまれる。ハコ物が負の遺産とならなければ良いのだが。
		設計事務所	この様な状態が続けば倒産する会社が今後増加する。
		美容院	民間の景気が悪い時は、公共事業、不正もいろいろとニュースになっているが、必要悪も有るのではないかとおもう。あまりニュースになっても、しらけて、前向きにならない自分達はよくないし、明るいニュースがほしい。
		百貨店	当社は、プロ野球でセ・リーグはジャイアンツ、パ・リーグはダイエーホークスを応援しています。これまでの状況を見ると、ジャイアンツの優勝の可能性が高まっていますので、秋の優勝セールが出来ることを期待しています。
		旅行代理店	近県、東京の一流ホテル等から頻繁にセールに来て送客を依頼されている。7月に入ったら利用客が極端に減っているとのことで、かなりの低料金を提示してきている。
家計	下北	コンビニ	所得が伸びなくても、携帯電話等の通信費が減っている様では無い様で、消費されてしかるべきところで、消費活動がなされていない様に思える。
		スーパー	政府は景気の底入れを宣言したが、雇用は以前きびしい。良くならない！
		一般飲食店	景気が良くなっているというのは今まできいた事がありません。これからも、どのような状態になるのか不安で一杯です。本当に、政治が悪いと思います。
		都市型ホテル	団体旅行客の予約状況が前年に比べ低調である。
		タクシー	先日、むつ市職員の期末手当等が7%カットが議会で可決されました。しかし、議員の方たちについては結論が出ていない様です。早く協力すべきではないか。公務員もサービス業の私達にとっては大事なお客様であり、人口5万人の町にとっては、全体の消費意欲を萎縮させてしまうのでは。また、他に赤字財政脱却の手立ては無いものなのか。深い議論が必要ではなかったか！

企業	東青	建設	自立、自助の精神で、新しい分野・市場を自ら開拓できる企業のみが生き残る。
		食料品製造	お中元セールが今年もパツとしないようです。
	津軽	経営コンサルタント	会計不振に基づく米国企業の業績と株価の低迷が予想され、日本企業に対する悪い影響が懸念される。
		広告・デザイン	中央では、製造業を始めとして、少し持ち直し傾向に有るとの報道も少なくないが、まだ波状型で、ゆるやかでも上昇カーブを描きつつけるには経済力が弱い。企業においても、スリム化をまだ論じている様では。
		食料品製造	企業したいの体力がおとろえてきていると思う。担当の税理士の話しでは、ボーナスが払えない所も相当あるようです。
		飲料品製造	経済が静まりかえっている。
		電気機械製造	最近派遣会社の数の増加に驚いている。今後有望なビジネスだとは思いますが、それにしてもすごい。
		県南	食料品製造
	飲料品製造		倒産したGMSの復活祭セールが行われました。納入業者の協賛も得て近所迷惑な破格セールでしか復活出来ないのだろうか。
	経営コンサルタント		産業構造が変わらず、新しい産業育成が無いので、日本経済は発展性がない。
	建設		ここ数年取引がなかった業者が、「なんとか仕事をさせてほしい」と、付き合いのあった社員をたずねてくることが多くなった。
	電気機械製造		新幹線が12月に八戸開業するが、これは大きなチャンスである。目ざとい他県企業はとっくに手を打っている。青森の地元企業も、ずる賢い手を使ってでも利益をものにする貪欲さが必要な時期である。心を鬼にして進むべきだと思っている。
	下北	食料品製造	食品に対する法律改正でのコストがかかりすぎる。
	雇用	東青	新聞社求人広告
人材派遣			派遣社員募集に新卒者の応募者が増加傾向にある。
県南		新聞社求人広告	地方紙の新聞広告は地域の経済状況を反映します。ナショナル(中央)広告は悪いなりに出稿があるが、地元広告は出稿大幅減のまま。